

令和3年度 自己評価報告書

学校法人 湘南みどり学園
日本ガーデンデザイン専門学校

1. 教育の理念

(1) 採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
教育の理念目標を理解し共有していると思いますか	3.5
教育の理念目標を基に、学校の運営や教育が行われていますか	3.5
学校の理念や目標、将来像が生徒に周知されていると思いますか	3.3
	平均 3.4

(2) 現状

≫「奉仕・自立・思考」を教育理念、教育目標に掲げ人材育成を行っている。

【教育理念】

奉仕 | 自然との共生を考え環境問題に取り組み、奉仕する

自立 | 自然と向き合って自分の生き方を考え、社会の中で自立する

思考 | 植物を育み、心と体の健康を考える

【教育・人材育成目標】

1. 本校は、専門の修学の場であるので特に授業は時間を厳守し、厳粛に受ける。

2. 社会人としての生活態度を身に付けるよう日常の努力を続ける。

3. 学内の行事、及び委員会には積極的に参画し、参加意識と、企画力と行動力とを養成する。

≫教育理念、教育目標は入学当初に配布する「生徒心得」に記載し、新入生オリエンテーションにて周知している。また、進級生に対しても始業式にて再認識を図っている。

(3) 課題と改善方策

≫教育理念目標をホームページやパンフレットに大きく打ち出すことで、在校生や入学希望者にも伝わりやすくなるのではないかと。

2. 学校の運営

(1) 採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
教育目的に沿った運営方針が策定されていますか	3.5
運営の組織に沿った意思決定が行われていますか	3.5
教務や財務等について、組織整備など意思疎通がされていますか	3.5
教育活動について、情報公開がされていますか	3.5
情報システムが教務や事務に有効に活用され、合理的に運営がされていますか	3.3
	平均 3.5

(2) 現状

≫学校運営については学則および諸規定によって明確化している。

≫教職員会議を定期的に開催し、必要に応じて重要事項の協議あるいは周知を図っている。

≫教育活動等については本校 Web サイト、入学案内パンフレットにより情報公開に努めている。

(3) 課題と改善方策

≫組織力を強化し、時代に即した教育を目指す。

3. 教育の活動

(1) 採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
教育の目的に沿った教育課程が編成され、策定されたもので実施されていますか	3.3
学科の教育課程が、体系的に編成されていますか	3.3
実践的な職業教育の視点でカリキュラムが開発されていますか	3.7
関連分野の団体や学校関係者と協議された教科内容が策定され、実施していますか	3.8
授業の内容に沿った到達レベルによって成績評価と、出席を含め、進級・卒業の認定を行い、これが明確にされていますか	3.5
成績の評価、進級、卒業認定について専任の教員や講師（非常勤講師）の意見をくみ上げ、合意されていますか	3.8
資格取得のための動機づけ、生徒への支援体制やカリキュラムの位置づけがされていますか	3.8
人材の育成の目的にそった授業や教員の確保がされていますか	3.5
関連分野の先端的な知識技能の習得や教員の指導力の育成などの取組みがされ、研修の機会的提供がされていますか	3.3
	平均 3.6

(2) 現状

- ≫教育課程編成委員会での意見をもとに、実践的なカリキュラムを作成している。
- ≫資格取得支援のため、資格取得対策授業を取り入れている。
- ≫ライセンス取得講習を行い、就職活動や就職後にも役立つようにしている。
- ≫技能五輪への挑戦は教員の指導力育成の機会にもなっている。

(3) 課題と改善方策

- ≫コロナ禍の新しい生活様式での教育活動について見直しをし、実践的な知識、技術を習得できるカリキュラムを追求する。
- ≫社会の変化や生徒の多様化に配慮した教員の資質向上は今後も本校の重要課題といえる。

4. 学習の支援と成果

(1) 採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
就職に対する支援と向上が図られていますか	3.5
資格取得の意味が理解され、動機づけされ、取得率の向上が図られていますか	3.8
生徒の生活面での問題を理解し指導されていますか	3.8
退学率を軽減するための取組みがされていますか	3.5

生徒の健康管理の定期的健診がされていますか	4.0
生徒に対する経済的な支援がされていますか	3.7
生徒に対する相談が日常的に行われ、教職員に報告され、支援する体制となっていますか	3.8
	平均 3.7

(2) 現状

- ≫生徒の就職についてはクラス担任制を設け、生徒の資質、希望に合わせたアドバイスをを行い支援している。
- ≫退学率の軽減についての取り組みは生徒との個人面談等により行っている。
- ≫ガーデンショウの出展、フラワー装飾の検定訓練、技能五輪(フラワー) 出場での経済的支援を行っている。
- ≫新型コロナウイルスの影響を受けた生徒に対し、学校より QUO カードを支給した。

(3) 課題と改善方策

- ≫造園業界への就職については充足しているが、フラワー業界への就職支援の充実もはかる必要が感じられる。
- ≫生徒への経済的な支援を求める声もあるが、学校の経営状況から多くの支援を行うことは難しい。
- ≫担任制のため生徒指導や生徒からの相談等は基本担任となるが、コロナによる不安もあるため、担任のみならず学校全体で支えていく。

5. 教育の環境

(1) 採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
校舎の設備、配置が生徒の安全と教育に対応できるよう整備されていますか	3.3
学内外の実習場、施設について、教育に対応できる整備がされていますか	3.5
実習や教科指導に必要な教具、工具が整備されていますか	3.2
防災的に対する耐久性、その他の防災上の対策がされていますか	3.3
	平均 3.3

(2) 現状

- ≫以前から校舎内に水漏れ箇所が多数あり、カビの発生が危惧されていたが、屋上、外壁の工事により、教育環境の向上が図られた。
- ≫各種設備の老朽化が進んでいる。
- ≫学校内、実習場において教科指導に必要な教具の一部が雨対策されておらず、劣化させている状態にある。
- ≫年に2回、避難訓練、および防災に関するオリエンテーションを実施し周知している。

(3) 課題と改善方策

- ≫生徒数減少による学校財務の許容される範囲内で、災害への備え等、安定した教育環境の構築に向けて設備投資を進めていくことが重要である。
- ≫本年度中に資材置き場、工具置き場を整備し、雨対策を行う。

6. 学校生活と行事

(1) 採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
研修旅行計画が教育の目的に沿って実施されていますか	3.8
ガーデンコンテスト、技能五輪大会への参加が生徒への技術向上に対応するように配慮されていますか	4.0
その他の学校行事が適切に組み入れ、生徒の意見を十分に取り入れていますか	3.8
平均	3.9

(2) 現状

- ≫コロナの影響で海外研修は中止となり、ガーデンコンテストの多くも中止となっている。
- ≫技能五輪大会への挑戦を学校としてバックアップしている。
- ≫研修旅行については県内日帰りとし、3日間行った。
- ≫緑緑祭はコロナの影響により従来通りの開催はできないが、生徒主導で内容を考え実施する。

(3) 課題と改善方策

- ≫各種コンテストが中止となり気落ちする生徒もいるが、コロナのリスクを軽減できるよう考え、生徒が成長できるよう工夫を続ける。
- ≫コロナの収束の目途がたたないため、海外研修に代わる形のもの考える必要がある。

7. 生徒の募集

(1) 採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
生徒募集計画は適切に行われていますか	3.7
入学する生徒に適切な情報が正確に伝えられていますか	3.5
生徒募集活動を適確に行われているかの評価と見直しがされていますか	3.3
校納金など入学時あるいは進学時、そして行事費など妥当なものとなっていますか	3.8
平均	3.6

(2) 現状

- ≫ここ数年高校の進路指導が早い時期に行われており、進路決定も早くなる傾向にある。
- ≫生徒募集活動において、高校を実際に訪問して対面で話すことが難しくなった。
- ≫オープンキャンパスは三密を避けるなどの対策を講じて実施しているが、来校を控える方も多い。ZOOMによる学校説明会も行っている。
- ≫教育内容等を十分に理解できるように、入学パンフレットやホームページ、SNS、オープンキャンパスなどで詳細に説明している。
- ≫校納金は教育内容や教育環境に照らし、妥当な額を決定した。決定に際しては他校の学費水準を把握した上で行った。

(3) 課題と改善方策

- ≫高校の進路指導スケジュールに合わせ、オープンキャンパスの開催日を見直す。
- ≫オープンキャンパスの参加者を増やすため、これまで以上に SNS での発信に力を入れていく必要がある。
- ≫学校の魅力をストレートに表現して外部へ発信し、多くの人に興味を持ってもらえるようにする。
- ≫造園、園芸、フラワー業界の理解度を深め、自信の将来像を具体的に考えてもらえるよう、みどりの業界の情報提供を行うことが生徒募集に必要である。

8. 財務

(1) 採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の財務基盤が安定していますか	3.3
学校の予算が適切に執行されていますか	3.8
財務についての会計の処理と監査が適正に行われていますか	3.8
財務状況、情報公開の体制づくりがされていますか	3.8
	平均 3.7

(2) 現状

- ≫入学者の減少が続いており、財務基盤の安定性にやや不安を感じる。
- ≫予算の編成および執行は適切に実施している。
- ≫財務情報をホームページなどで公表している。

(3) 課題と改善方策

- ≫生徒数確保に向けた取り組み強化に努める。

9. 法令の遵守

(1) 採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
専修学校設置基準や法の規制に沿った運営されていますか	4.0
個人情報やハラスメントなどの対策など保護されるような体制となっていますか	3.5
	平均 3.8

(2) 現状

- ≫法令、設置基準の遵守、通知については教職員に周知されている。

(3) 課題と改善方策

- ≫ハラスメント防止啓発等を今まで以上に力を入れ、生徒および教職員が安心できる環境づくりが望まれる。
- ≫自分から話すことができない生徒もいると思われるので、日頃より教員が目を配り声かけを実施するなどして保護するように努める。

10. 社会還元

(1) 採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
教育の運営や内容が社会貢献、地域貢献に配慮されていますか	4.0
生徒のボランティア活動を支援する体制となっていますか	3.8
専門分野を生かすような講習会など積極的に取り組んでいますか	3.5
	平均 3.8

(2) 現状

≫ 俣野別邸庭園にてサポーター活動を行っている。

≫ コロナの影響でイベントが中止になっており、お祭りのボランティアなどは実施されていない。

(3) 課題と改善方策

≫ 社会貢献、地域貢献、ボランティア活動については、生徒の成長のためにも可能な限り継続していく。